

平成25年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切に、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成する。
- 3 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養う。
- 4 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくる。

2 中期的目標

【1】 建学の精神「報恩感謝」を土台に、独自性の高い教育を開発、実践する

(1) 選び抜いた内容を実践し、改良を加える

指導要領の内容と、独自に開発、改

良を加えた学習を組み合わせ実践する。

定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見を取り入れて教育内容を精選、改善する。

(2) 学校行事の見直し

子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求する。

子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導する。

【2】 基礎学力と基本的生活習慣の育成

(1) 生活習慣をしつける方策と実行時期の熟慮と、集団の中で育む方法を探求

「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行う。

意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育む。

(2) 基礎学力の徹底

ひとりひとりの興味関心を大切に、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力の基礎を養う。

【3】 主体的な生き方の尊重

一人ひとりの興味関心を大切に、だれにも自信を持たせる教育を行う。

道徳教育、人権教育を軸に、互いの個性を尊重しあえる土壌をつくる。

【4】 安心、安全な学校づくり

幼稚園や中学校とのつながりを密にし、相互の教育内容を充実させることにより、長期にわたる同じ方向性を持った指導を行う。

自他の命を尊び、安全な暮らしを希求する態度を育てるとともに、緊急時の対応を検討することにより、校内の安全性を高める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [(平成24年度)平成24年11月実施分]	学校協議会からの意見
<p>評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行った（児童回収率98.5% 保護者回収率82.9%）</p> <p>評価方法： 各項目について、5段階評価を行った 5：大変そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：普通 2：あまり思わない 1：まったく思わない</p> <p>評価のための資料：児童（3～6年生）アンケート 保護者（全学年）アンケート 平成24年度小学校教育計画 平成24年度職員会議録</p> <p>○児童・保護者アンケート集計・平均（ ）内は児童の平均</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に入学させて(して)よかった…4.5 (4.6) ・学校は学力向上に力を入れている…3.9(4.3) ・指導方法は工夫され、分かりやすい…4.0(4.0) ・まじめに授業を受けている…3.9(4.0) ・行事は楽しく充実している…4.6(4.7) ・学校のきまりはいいきまりだ…4.2(4.1) ・きまりの指導に力を入れている…3.6(4.1) ・きまりやマナーを守っている…4.0(4.0) ・児童会活動や係り活動ががんばっている…4.1(4.5) ・友だちとうまくいっている…4.1(4.3) ・ケンカいじめに対応する…3.9(4.0) ・制服、ランドセル、体操服が気に入っている…4.0 (3.9) ・校内の習い事や同好会は充実している…4.2(4.1) ・校内の施設、設備は充実している…4.0(3.6) ・生活状況や学習成績の通知は行き届いている…3.9(4.2) <p>教職員の自己評価(平均)：</p> <p>個性尊重・実行から学べ・明朗と自主の教育方針に基づいて、その具体化を図っている…4.5</p> <p>十分な検討のもと、年間教育計画を立てている…4.6</p> <p>全職員研究会・学年会議を、課題検討・情報交換の場として有効に機能させている…4.2</p> <p>学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている…4.2</p> <p>学校HPの公開掲示板や通信などで、教育活動の情報提供に努めている…4.3</p> <p>緊急時のマニュアル整備や登下校チェックや防災訓練など、安全対策を十分とっている…4.2</p> <p>分かりやすい授業の実践に努めている…4.3</p> <p>学習意欲向上に努めている…4.3</p> <p>学力向上に努めている…4.3</p> <p>社会的マナー・モラルの定着に努めている…4.1</p> <p>情報モラルの教育に取り組んでいる…3.7</p> <p>思いやりのある態度育成に努めている…4.1</p> <p>保護者との連携に努めている…4.2</p> <p>人権意識向上に努めている…4.3</p> <p>自然環境保全の意識向上に努めている…4.3</p> <p>衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…4.7</p> <p>安全に関する指導に努めている…4.7</p> <p>主体性を重視した指導に努めている…4.6</p> <p>読書指導に努めている…4.3</p> <p>挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている…4.6</p> <p>時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている…4.6</p> <p>物を大切に作る心や、美化意識の向上に努めている…4.0</p> <p>学習の遅れている児童への支援を行っている…4.1</p> <p>問題を抱えた児童や保護者への相談活動に努めている…4.3</p> <p>きめ細かな進路相談に努めている…4.0</p> <p>活発に、教員間で教育生活指導について、意見交換している…4.5</p> <p>計画的に、教職員対象の研修が行われている…4.5</p> <p>個人の研究・研修を支援する制度が整備されている…4.3</p> <p>自己評価の分析と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活指導について（時間遵守・挨拶と礼儀）の評価が高い。 ○ 情報モラルの教育についての項目が低い。（1） ○ 保護者、児童のアンケートと著しくポイントがずれた項目はない。 ○ 学習に関する評価は、保護者、児童、教職員ともおおむね満足していることを示している。年間を通じて行った校内研究授業と分析的な授業後協議会が教職員の個々の指導力向上に役立ったと考えられる。（2） ○ 進路指導についての評価が若干低い。（3） ○ 美化意識向上についての学習の自己評価が低い。（4） <p>課題に対する具体的方策</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）ICT研究部を中心として教育ソフト・教材をさらに整備し、カリキュラムの拡充を図る。 （2）全国に向けた公開研究会開催を軸とした研修機会を設け、よりいっそうの資質向上に努める。 （3）内部中学との連携をより密にし、中学教員による授業、クラブ体験などの機会を増やす。連絡会・協議会などを通じ教師間の相互理解と交流を深める。保護者対象の公開授業や説明会を実施する。中学校の連携を強化し、内部進学を進路指導を強化する。 （4）職員が自教室を率先して整理整頓し、模範と美化のポイントを具体的に指導する。 	<p>様々な観点から評価項目は構成されていますが、その評価に対して、保護者・児童・学校関係者（自己）の3者からの意見には、ほぼ差異はないと見受けられ、その分析結果についても正しい見解が出されています。総合的に見て、当小学校に対する満足度は概ね高いと判断されます。</p> <p>ただし、</p> <p>「学力を向上させる授業の実践」「しつけやマナーの指導」</p> <p>「清掃、校内美化に取り組む指導」等に、保護者・児童と保護者の認識に多少ずれが感じられます。</p> <p>学校は、それらの事を分析・判断し、今後の検討課題として、努力向上していこうとする姿勢が見えています。</p> <p>その点において満足のできる評価分析であると思われます。</p> <p>(平成24年11月13日実施)</p>

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価（平成25年11月実施）
<p>1 建学の精神を土台に、独自性の高い教育を開発、実践</p>	<p>1. 「指導要領プラス」をスローガンとしたカリキュラム・教材/教具を模索、実践しその効果を検証する</p>	<p>① 成績通知の、評価項目や評定基準を詳細に検討し、保護者と児童に学習到達度を継続的でわかりやすく通知できる方法を模索する。</p> <p>② 学級通信、学年通信をどの教員も閲覧できるよう工夫する。</p> <p>③ ICT 研究部を中心として教育ソフト・教材をさらに整備し、カリキュラムの拡充を図る。</p> <p>④ 内部中学との連携をより密にし、中学教員による授業、クラブ体験などの機会を増やす。</p> <p>⑤ 連絡会・協議会などを通じ教師間の相互理解と交流を深める。</p> <p>⑥ 保護者対象の公開授業や説明会を実施する。</p> <p>⑦ 中学校の連携を強化し、内部進学の見学指導を強化する。</p>	<p>教員自己評価の次の項目の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報モラルの教育に取り組んでいる ・ きめ細やかな進路指導に取り組んでいる <p>保護者、児童アンケートの次の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活状況や学習成績の通知は行き届いている 	<p>個性尊重・実行から学べ・明朗と自主の教育方針に基づいて、その具体化を図っている…4.3</p> <p>十分な検討のもと、年間教育計画を立てている…4.1</p> <p>教務主任を中心として、機能的に運営されている…4.2</p> <p>全職員研究会・学年会議を、課題検討・情報交換の場として有効に機能させている…4.1</p> <p>学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている…4.1</p> <p>学校HPの公開掲示板や通信などで、教育活動の情報提供に努めている…4.3</p> <p>教育活動がしやすく、子どもにとっても好ましい環境が整っている…3.5</p> <p>職員の適切な勤務実態と健康管理につとめている…3.6</p> <p>学習の遅れている児童への支援を行っている…4.1</p> <p>問題を抱えた児童や保護者への相談活動に努めている…4.3</p> <p>きめ細かな進路相談に努めている…3.9</p>
<p>2 基礎学力の徹底と指導力の向上 基本的な生活習慣の育成</p>	<p>1. 国語の観点のうち、「書く能力」の向上を図る</p> <p>2. 規律遵守の意識レベルの向上を図る</p>	<p>① 「どこでも国語」を意識した「書き、まとめる」「書いて考える」「書いて交流する」授業プランを研究開発する。複数の教員が授業化することによりプランの質的向上を図る。児童の書いたノート、WS類を校内研究会で研究の対象とする。</p> <p>② 学力テストで基準とする値に達していない児童を教務が抽出し、学級担任が対象児童の学力向上に努める。次年度学力テストでその成果を再び教務が調べ、担任のとした指導方法が有効であったかを検証する。</p> <p>③ 公開授業研究会に向け、(平成28年1月)長期的展望に立った研究をすすめる。</p> <p>④ 長期休業中の校内研修日を活用し、職員の合同研修を計画する。</p> <p>⑤ 次回開催の公開授業研究会（平成28年1月実施予定）を視野に入れ、校内研究授業を計画実践し、今後の研究深化に役立てる。</p> <p>① 「自律の手助け」、「思いやりを育む指導」を念頭に置き、常に「しつけポスター」に立ちかえる指導を行う。</p> <p>② 特に言葉づかい・姿勢・学校美化について教員が範を示し、児童が見倣うことのできる機会を積極的に増やす。</p> <p>③ 校外行事（宿泊行事、学級遠足など）や校内に訪問者が来る日（参観日、入試説明会など）を「マナー実践の場」と児童に意識させ、実際の場に応用する機会を作る。</p> <p>④ どの教員も指導基準や方法が同じになるよう、教員が恒常的に相互批判を行う。</p> <p>⑤ 道徳教育を充実する。土曜日の1限を道徳の時間にし、副教材を使う。</p> <p>⑥ 児童会活動を軸とした、自主的マナー啓蒙運動を検討し、児童が相互で賞賛しあったり、マナー向上に知恵をしぼったりする場を増やす。</p>	<p>保護者、児童アンケートの次の評価を向上する</p> <p>学校は学力向上に力を入れている</p> <p>規律遵守の意識レベルを向上し、保護者、児童対象アンケート・しつけに関する3項目の平均を向上する</p> <p>教員自己評価の次の4項目の評価を維持する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的マナー・モラルの定着に努めている ・ 人権意識向上に努めている ・ 挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている ・ 時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている 	<p>分かりやすい授業の実践に努めている…4.1</p> <p>学習意欲向上に努めている…4.2</p> <p>学力向上に努めている…4.3</p> <p>社会的マナー・モラルの定着に努めている…4.1</p> <p>思いやりのある態度育成に努めている…4.1</p> <p>保護者との連携に努めている…4.1</p> <p>人権意識向上に努めている…3.9</p> <p>自然環境保全の意識向上に努めている…3.7</p> <p>読書指導に努めている…4.2</p> <p>活発に、教員間で教育生活指導について、意見交換している…4.2</p> <p>計画的に、教職員対象の研修が行われている…4.2</p> <p>個人の研究・研修を支援する制度が整備されている…3.7</p> <p>外部の研究会などで得た情報を、校内で共有しやすくなっている…3.8</p> <p>挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている…4.1</p> <p>時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている…4.0</p>

<p>3 主体的な生き方の尊重</p>	<p>児童の自主性・主体性がより発揮できるように、児童委員会・係活動・縦割り活動、行事の内容を再検討する</p>	<p>① 児童委員会で「どのようにすればみんなが楽しい学校生活を過ごせるようになるか」を話し合わせ、子どもたち自身で今年度のスローガンをたてる。スローガンを軸に、子どもたちが自主的にあいさつ、相互扶助、ボランティアに取り組める下地を作る。</p>	<p>保護者、児童アンケートの次の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童会活動や係り活動をがんばっている ・ 行事は楽しく充実している 	<p>主体性を重視した指導に努めている…4.1</p>
<p>4 安心、安全な学校づくり</p>	<p>1. 児童の生命を守るために、対策をたて取り組む 2. 児童の安全に対する意識を向上させるため、特別活動や道徳の時間を使って教育を行う。</p>	<p>① 一般防災に関する対策 (a) 防災マニュアルに沿った避難訓練、マニュアルの検討を行う。 (b) マニュアルが機能するよう、避難通路や防災用具を定期的に点検する。 (c) 緊急集団下校マニュアルに添い、円滑な保護者への引き渡しを目的とした訓練を行う。 (d) 緊急時の一斉配信システムを整備する。 (e) 宿泊を伴う校外行事では、最初に避難経路を児童に知らせ、必要に応じて避難訓練を行う。 ② 不審者等の危機管理 不審者対策危機管理マニュアルにそって危機レベルごとの迅速な対応ができるよう、職員の訓練を行う。 ③ 外部組織と連携し、安全意識向上のための教育を行う（四條畷警察・安全教室、NTT安全モラル教室等）</p>	<p>教員自己評価の次の項目の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災や安全に関する指導に努めている ・ 衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている 	<p>緊急時のマニュアル整備や登下校チェックや防災訓練など、安全対策を十分とっている…4.2 防災や安全に関する指導に努めている…3.9 衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…3.8</p>
<p>5 教育環境の充実</p>	<p>学校の美化全校で取り組む。</p>	<p>① 児童の持ちものの整理整頓、指導を定期的に行う。 ② 職員が自教室を率先して整理整頓し、模範と美化のポイントを具体的に指導する。</p>	<p>教員自己評価の次の項目の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物を大切にする心や、美化意識の向上に努めている <p>保護者、児童アンケートの次の評価を向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の施設、設備は充実している 	<p>物を大切にする心や、美化意識の向上に努めている…4.0</p>